

奥日光の自然情報誌

楓通信

2026年 No.165

6-8 月号

奥日光には昔から **クマ**がいます。

本誌でも度々取り上げましたが、奥日光にはかねてよりツキノワグマが生息しており毎年、目撃情報が多数寄せられます。近年、何かと話題になっていることもあり一般の方やメディア関係の方からクマについて様々な問合せを頂くようになりました。

× クマが出る ○人間が出る

つい人間の視点で考えがちですが、奥日光の大自然から見れば「人間が野生動物の生息地に出現している」というのが正しい表現。人間がクマ（野生動物）のすみかにお邪魔させていただいているのです！そのため環境省が、クマの行動に問題がないかどうか、ビジターセンターで目撃情報を収集しています。これは、万が一危険な状況になった場合に適切な対策を講じる目的で行っているものです。

クマを正しく怖がろう

「クマ鈴があるから大丈夫」「日中ならクマは出てこない」など、自然を相手に「絶対大丈夫」ということはありません。大切なのは、クマ鈴の携行等でしっかり対策をした上で、クマの存在を意識しながら行動すること。笹やぶや暗い林内では、クマにすぐ気づけるよう周囲をよく見て歩く。人間側が野生動物の動きに注意を払い、彼らを刺激しないよう努めることが何よりの対策です。

定期購読のご案内

発行日にご自宅まで本誌をお届けします。

「楓通信」購読料 **1,500 円**

2026年3月号 (No.164) ~ 2027年12月号 (No.171)

※本誌は無料。送料、手数料として頂きます。

【発行】自然公園財団 日光支部

【申し込み方法】

ビジターセンターで申込書にご記入いただくか、下記まで氏名・住所・電話番号をご連絡ください。

✉ yumotovc.guide@npfj.or.jp

☎ 0288-62-2461 (FAX: 0288-62-2378)

2026年6月初旬発行 [次号 2026年9月初旬発行予定]



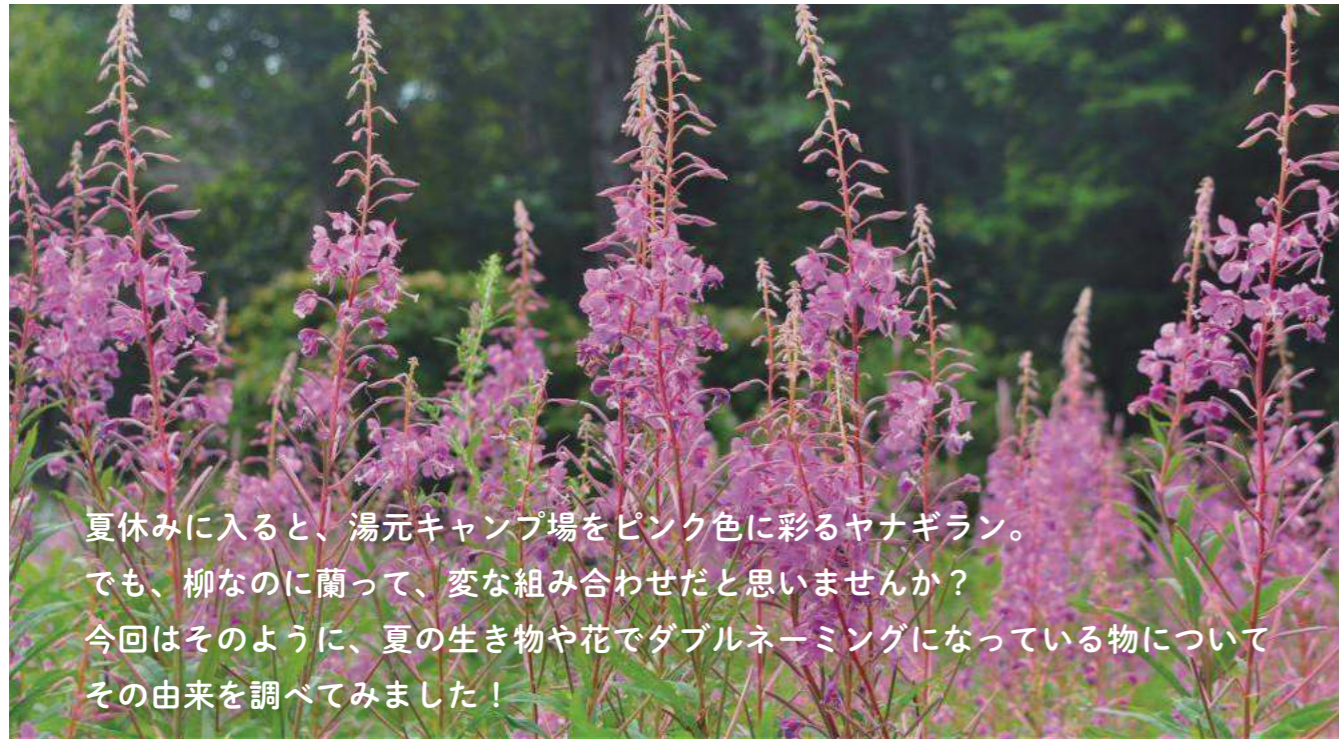
戦場ヶ原

今号の特集

- < 特集1 > 生き物のWネーミング問題！？を探る
- < 特集2 > ~招かれざるもの~ 奥日光の『外来植物』

馬なのに鳥！？草なのに鳥！？

生き物の W ネーミング問題 を探る



夏休みに入ると、湯元キャンプ場をピンク色に彩るヤナギラン。
でも、柳なのに蘭って、変な組み合わせだと思いませんか？
今回はそのように、夏の生き物や花でダブルネーミングになっている物について
その由来を調べてみました！

—— 柳（樹木）と蘭（花）！？

ヤナギラン

細長い葉がヤナギ、花の独特な形がランに似ていることが名前の由来。ランではありません。奥日光ではシカの被害等により数が減少しましたが、湯元キャンプ場の一角には、ボランティアの方々の保護活動により復活した貴重なヤナギランが群生しています。種から地道に増やしたヤナギランを、ぜひご覧ください（7月頃に開花）！



—— 馬（駒）なのに鳥！？

コマドリ

「ヒンカラカラ～」という鳴き声が馬（駒）のようだということでその名がつけました。馬のいななきに似ているかは賛否が分かりますが（笑）、特徴的な鳴き声ではあるので印象に残ります。6月頃に切込湖・刈込湖に行くと、道中あちこちでコマドリの鳴き声が聞こえますよ！また、声のする方を根気強く観察すれば、その姿を拝めることも。



—— 怪物（鬼）と花！？

コオニユリ

漢字表記だと「小鬼百合」。あの鬼です。花の形や色を鬼の顔に見立てたとか何とか、由来は諸説あり。「オニユリ」より小さいので「コオニユリ」になりました。どうでもいい話ですが、鬼の顔よりも鬼のパンツ（柄）に似てるなあと思っているのは筆者だけ？？こんなに鮮やかな色のユリが鬼の顔だなんて、なんかちょっとかわいそう。



—— 鳥（サギ）で植物！？

サギスゲ

漢字表記だと「鷺菅」。この白いほわほわは花ではなく花穂（果実）なのですが、この花穂の形が「空を飛ぶサギの姿」に似ていることからこの名がつけました。まん丸で、まさに綿毛という見た目のワタスゲに対してのサギスゲ。自分が名づけ親だったら安直に、細長い綿毛で「ナガスゲ」とか名づけよう…。飛んでいるサギだなんてオシャレだなあ。



—— 鳥が踊る！？

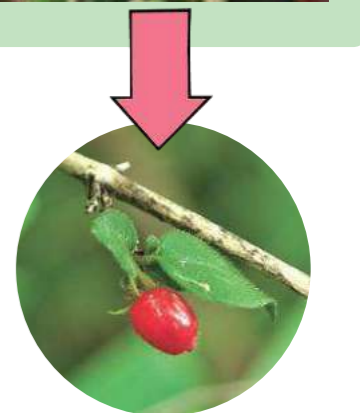
ミヤマウグイスカグラ

初見だとなんのこっちゃという感じですが、実は単語の組み合わせでできた名前。由来は、ウグイスが鳴く頃に花を咲かせることに加え、その枝葉の間を鳥（ウグイス）が飛ぶ様子を神楽舞に例えたことから。ちなみに筆者は入社当初、由来まで理解していなかったで「ミヤマウグイス“カズラ”」だと思ってました。皆さんはお間違いのないよう…！



他にも色々！ W ネーミング動植物

今回は夏の特集ということで、夏に見られる動植物についてご紹介しました。もちろん、他の季節の生き物にも同様に、W ネーミングになっているものがたくさん！楽しみながら生き物の名前を覚えられますので、図鑑を見る時にチェックしてみてください！



こん窓実をつけます
(夏には大体が実になってます)



招かれざるもの…

奥日光の外来植物

昭和46年8月の小田代原

上の画像、きれいな花畑ですが、この黄色い花は全て外来植物のオオハンゴンソウなのです。かつては戦場ヶ原や小田代原でも大繁殖していました。一見キレイな花だけど、実は招かれざるもの…今回はそんな奥日光の外来植物と、それらの除去活動についてお伝えします。

奥日光の主な外来植物（一部抜粋）



オオハンゴンソウ
(特定外来生物)

小さいヒマワリみたいで綺麗なのですが、凄まじい繁殖力でお花畑を形成する厄介者。



ヒメジヨオン・ハルジオン

「貧乏草」とも呼ばれる植物。道端や空地など、どこにでも咲く強い生命力の持ち主。



ピロードモウズイカ

2mほどの大きさになる巨大な植物。市街地でも畑や空地などで結構見かけます。



フランスギク

あちこちでお花畑を形成し、見た目は可愛らしいのですが招かれざるものです。



ハルザキヤマガラシ

実は、若い葉は食べられます。いっそ、おひたしにして食べてしまおうか。



オオカワテシャ
(特定外来生物)

湯川沿いに多いです。一つひとつの花は小さいですが、1mほどの高さまで育ちます。

侵略的な外来生物と「外来生物法」について

外来生物のうち地域の生態系、人の生命・身体、農林水産業に被害を及ぼすような種は、環境省が外来生物法による「特定外来生物」に指定して防除を行うことにしています。アライグマやカミツキガメのほか、公園のサクラを枯らしてしまうクビアカツヤカミキリなど、私たちの暮らしに大きな影響を与えている種が特定外来生物に指定され、各地で駆除活動が行われています。

奥日光の植物では「オオハンゴンソウ」「オオカワテシャ」が特定外来生物に指定されていて、行政のほか、ボランティアの協力もいただきながら、毎年除去作業が実施されています。

外来植物から奥日光の自然を守るために オオハンゴンソウ除去作戦

放っておくと驚異的な繁殖力で増え続けてしまう外来植物。少しでも状況を改善すべく、日光市が主体となり、私たちは関係機関やボランティアの方と共に、それらの除去活動を実施しています。それが、「オオハンゴンソウ除去作戦」です。菖蒲ヶ浜スキー場跡地、湯元周辺、湯元スキー場の大きく3ヶ所に分かれ、外来植物を取り除きます。昨年は約1,400kgを除去することができました。今年の日程はまだ未定ですが、例年7月下旬から8月上旬に行われます。一般の方の参加も大歓迎なので「日光の自然を守りたい!」という方はチェックしてみてください! (日程が確定次第、ビジターセンターのHPに詳細を掲載予定)



除去作業中

ひたすら黙々と、目の前の外来植物を取り除く作業です。特別な技術はいらないものの、集中力が必要です…!



除去した植物

除去した植物の一部。長年の除去活動の甲斐あって、オオハンゴンソウは戦場ヶ原や小田代原ではほとんど目になくなりました。



除去した植物の処分

除去した物は、その場ですぐパッカー車に投入の後、ゴミ処理場へGO!種を飛ばす前に処分するのがポイント。

ビジターセンターのイベント

クマを正しく怖がろう！ クマレクチャー

6/20、7/11、7/18
14:00-15:00

何かと話題のクマ問題。ただ怯えるのではなく、彼らの生態を知って正しく怖がりませんか？ツキノワグマの生態や出会ってしまった際の対処法等、フィールドで役立つ基本的な内容を、スタッフがわかりやすくレクチャーします。堅苦しい会ではないので「天気が悪くてやることがないな〜」という方も、ぜひお気軽にご参加ください！
【実施場所】日光湯元ビジターセンター

参加費 500 円



対象：現地に集合できる方
集合場所：日光湯元ビジターセンター

事前申込み不要

沢沿い歩きの先には秘境が！ ドビン沢 瞑想の地へ

7月4日（土）
9:30-15:00

湯元～刈込湖・切込湖コースの途中から道を外れ、ひたすら沢沿い歩き！岩がゴロゴロしているので、登山経験者向け。足場は悪いながらも、心地よい沢の風景と、歩ききった先の「瞑想の地」に満足すること間違いなし！瞑想の地から帰りたくなくなっちゃうかも！？※特別許可を得て実施
【ルート】日光湯元 VC→泉源→ドビン沢沿い→瞑想の滝（往復）

参加費 4,000 円



対象：岩場歩きに慣れている方
集合場所：日光湯元ビジターセンター

定員 10 名

夏休みの宿題が解決！親子で水辺の昆虫さがし

8月1日（土）
10:00-15:00

湯ノ湖へと流れる清流、白根沢で水生昆虫を探して観察してみよう！生き物を探すだけでなく、水生昆虫と環境とのつながりについて、お子さんにも分かるようにスタッフが解説します。1日のイベントなのにこのお値段！とってもお得です◎

【実施場所】白根沢沿い（日光湯元温泉内）

参加費 1,000 円
（小学生以上）



対象：親子で参加できる方（お子様のみは不可）
集合場所：日光湯元ビジターセンター

定員 20 名程度

「究極の闇」体験！日光湯元ナイトハイク

8月15日（土）
19:30-21:30

あえて人工灯がないエリアを歩き、「究極の闇」を体験します。ライトを消すと、あまりの暗さにビックリ！？天気が良ければ満点の星空も楽しめたり、過去には天の川が見えたことも！ただし、宿で夕食をとる方は食事の時間を事前にご確認いただき、集合時間に間に合うように調整をお願いします！

【ルート】湯元温泉街周辺

参加費 2,000 円



対象：現地に集合できる方
集合場所：日光湯元ビジターセンター

定員 20 名

お申込み先（自然公園財団日光支部）

✉ yumotovc.guide@npfj.or.jp

☎ 0288-62-2461 (FAX: 0288-62-2378)

お申込みの際、下記をお知らせください。

- ①氏名 ②令和5年～7年実施イベントの参加有無
- ③性別 ④年齢 ⑤住所（郵便番号含む）⑥電話番号
- ⑦当日の交通手段